

2023年度 事業計画書

自 2023年4月 1日

至 2024年3月 31日

建築開口部協会は、2020年12月に、カーテンウォール・防火開口部協会と建築改装協会が合併して発足し、合併の効果を発揮すべく体制の整備・新たな事業展開に向けての取組みを進めてきました。

2022年度においては、新たな事務所に移転するとともにホームページの統合・リニューアルを行ってきたところであり、2023年度はこれらを活用して、協会活動の更なる活性化、情報発信の充実に努めてまいります。

国においては、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、様々な施策が展開されており、また建築物・住まいの安全確保も重要な課題となっています。こうした動向も踏まえ、協会の目的である安全で快適な建築物の整備を通じた社会貢献に努めてまいります。

【基本方針】

1. 防火戸及びカーテンウォールの技術、品質、規格等に関する調査研究、普及を推進する。
2. カーテンウォール及び改装事業に関する施工の安全確保、人材の育成等を通じ、業界の地位向上、魅力ある職場づくりに貢献する。
3. 今後のストック社会に対応し、既存の建物の機能向上等を図るため、改装関係の事業を推進する。
4. カーボンニュートラルに向けて、窓の改修にかかる国の新たな補助制度の活用を図りつつ、断熱性能の不十分なものが多いマンションの窓の断熱改修について、研究・普及等の活動を推進する。
5. 学校の窓については、開閉回数が多く、維持管理の技術者が不足していること等により、毎年落下事故が起きている。このため、協会が学校の窓の点検を行う事業者の育成・登録を行う新たな制度を開始する。
6. 人命や財産の大きな被害につながるマンションの墜落防止手すりの老朽化対策、開口部の飛来物対策を推進する。
7. リニューアルされたホームページを活用し、新たなコンテンツの充実等を図るとともに、メルマガや広報誌の一層の充実を図る。
8. 関係団体や有識者等との連携により、効果的な情報収集や事業実施を図る。
9. 協会の認知度向上、入会メリットの向上を図り、支部と連携して会員の増加を目指す。
10. 協会の財務状況は厳しい状態であり、事業実施に当たっては、必要性や効

果の検証、経費削減になお一層配慮して行う。

【主要活動事項】

1. 防火関係事業の推進

- ・ ビル防火戸の通則的認定の運用・管理
- ・ ビル防火戸個別認定品の連結等に関する研究
- ・ 防火戸に関する技術基準等の研究、普及
- ・ 防火認定における評価機関との連絡会議の実施
- ・ 基整促等防火に関する技術情報の収集・周知
- ・ 住宅サッシ・防火戸取扱い事業所登録制度の運営実施（定期講習会の実施等）

2. カーテンウォール事業の推進

- ・ 金属製カーテンウォール技術基準の策定及び普及
- ・ 登録サッシ・カーテンウォール基幹技能者講習等の実施
- ・ カーテンウォール技能検定への協力
- ・ 施工管理者安全推進大会の開催

3. 改装事業の推進

- ・ 「特定住宅部品にかかる優良取替事業」の推進、技術講習会の開催
- ・ 公共需要（UR等）、民間需要（マンション）の掘り起こしのための情報収集、PR活動
- ・ 各種技術資料等の改訂、普及
- ・ 支部活動の活性化、二種準会員への支援強化（支部勉強会の充実等）

4. マンションの窓の断熱改修の推進

- ・ 2022年度に作成したリーフレット等を用いてマンション居住者等への窓の断熱改修の普及（関係団体を通じてマンション管理組合への配布等）
- ・ マンションの窓の断熱改修による省エネ効果等に関する研究
- ・ ホームページの充実

5. 学校の窓の点検の推進

- ・ 学校窓点検を行う事業者の育成・登録を行うための規程・マニュアルの制定
- ・ 規程等に基づき、講習会開催、事業者登録等の実施
- ・ 教育委員会等の学校施設管理者への制度周知、普及
- ・ ホームページの充実

6. 開口部等の性能向上に係わる事業の推進

- ・ 集合住宅の墜落防止手すりの点検・改修を進めるための対策の検討、普及
- ・ 飛来物に対する開口部の安全性向上の研究、普及

7. 広報の充実

- ・ ホームページについて、新たなコンテンツ等掲載内容の充実
- ・ 会員向けメルマガの登録者増加、適時の情報発信
- ・ 会報について、今後のあり方の検討、改善